



クラブ
主題

～ 伝えよう感謝 喜び そして 悲しみも ～

会長 五十嵐 由紀

会長/五十嵐由紀
副会長/八木悠祐・左近宏崇
書記/田中雅博・金原弘明
会計/山口雅也・藤野 篤

- 国際主題: I P Jacob Kristensen (デンマーク) “VALUES, EXTENSION and LEADERSHIP”
「価値観、エクステンション、リーダーシップ」
- アジア太平洋主題: A P David Lua (シンガポール) “Make A Difference” 「変化をもたらそう」
- 西日本区主題: R D 古田 裕和 (京都トゥービー) 「Let's do it now」～2022に向け誇りを持ってAll is well～
- 京都部主題: D G 中村 隆司 (京都ウエル) 「人生は一度きり」～出会いから全てが始まる～
- メネット主題: RSD 吉本 典子 (熊本ジェーンズ) 勇気を持ってやさしさを！ 小さな事でも世界は変えられます。



EMC 委員長としての責任

EMC 委員長 大門 和彦

2019年の12月、現会長の五十嵐さんから「2020年度のEMC委員長をお願いしたい」との依頼を受けてスタートしました。が、まさかコロナによってクラブどころか、世界中が大変な状況になるなんて……誰も想像すらできなかったことだと思います。春から夏にかけては例会さえも通常開催出来ないなんて……。

EMC委員会の重要な役割でもある「新入会員獲得」。事業計画では5名獲得と目標を立てたものの、このコロナ禍で本当にできるのか？ 非常に厳しい年になるな！ なんて消極的に考えていました。しかしキャピタルクラブの現状(29名)を考えると、出来る？ 出来ない？ ではなく、絶対に獲得しなければならない状況です。その昔、ベテランメンバーから「40名位が理想だね。40名いたら何でもできるよ。」と言われていたことを思い出しました。

今、あの時の意味がなんとなく理解できる様な気がします。コロナ禍で、職種によっては大変な状況にあるメンバーもいると思います。「クラブどころではない」というメンバーもいるかも知れません。当然だと思います。

しかし、メンバー数が減り、稼働人数が減ると、1人当たりの業務負担が増え、疲弊する。悪のスパイラルの典型です。クラブとしての組織体を考えると、悪循環になる前に何が何でも食い止めなければなりません。その分岐点に立っているクラブだとメンバー全員が自覚する時かも知れません。「キャピタルクラブは素晴らしい」「キャピタルクラブはワイズの見本だ」などと高評価を頂いています。本当に素晴らしいクラブだと私も思います。

しかし、「アフターコロナは新しい世界になる」とまで言われています。過去の評価は胸に留め、「1から新しいクラブを創造する時だ！」新たな血(仲間)を沢山注入して、この逆境を乗り越えなければなりません。その為にはメンバーの協力なくしてはあり得ません。

「キャピタルクラブのメンバーで本当に良かった」と思えるクラブを皆で創りましょう。

今月の聖句



これは我らの神の憐れみの心による。この憐れみによって、高い所からあけぼのの光が我らを訪れ、暗闇と死の陰に座している者たちを照らし、我らの歩みを平和の道に導く。

新約聖書 ルカによる福音書 1章78～79節

解説 今年も早いものでもう12月になりました。クリスマスも今年は新型コロナの影響で例年とは違う趣になるのだらうと思われまふ。この聖句はイエスが生まれる前に預言者ヨハネの父ザカリアが救い主イエスの誕生を預言した箇所である。イエスの誕生は暗闇の世にあってあけぼののひかりとして我々に訪れて我々を平和の道に導くと言っている。新型コロナでこの1年、様々な影響で重苦しい雰囲気が漂う中で、クリスマスがこの世に希望をもたらす時として迎えたいものです。

西日本区
強調月間

12月

EMC-E
YES

次の世代、新しいクラブ設立の為にも、YES 献金を100%

竹園憲二 EMC 事業主任 (京都 ZERO クラブ)

年間強調
目標PR

ワイズメンズクラブ内外の人達にもっと広報して、EMC やクラブの活性化に繋げましょう。

大槻信二 広報・情報委員長 (京都センチュリークラブ)



強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

11月第一例会 2020年11月10日(火) 19:00~21:00 ウェスティン都ホテル京都

音 楽 例 会

副会長 八 木 悠 祐

11月第一例会は、音楽例会として、シンガーソングライターの本井美帆さんと作曲家の杜若清司さんをお迎えして開催されました。

本井さんのピュアな歌声とダイレクトに伝わってくる歌詞が会場を包み、皆で心豊かな時間を持つことができました。

また、作曲家兼総合プロデューサーの杜若さんのCM制作における裏話や本井さんの魅力についてのお話も非常に興味深く聞かせていただきました。そして、現在取り組んでおられる『音楽の輪』のプロジェクトでクラウドファンディングにチャレンジし、集まった寄付金で1つの楽曲を制作し、その収益金を災害などで困窮している地域に継続的に寄付をしたいという思いも語っていただきました。

ゲストには、自身の娘さんの結婚式で本井さんに歌っていただく一井さんご夫婦と、2度目の参加となられる渡邊えみさんと松下史人さんにもご参加いただき、キャピタルクラブの温かな例会の雰囲気を感じていただけたのではないかと思います。



11月第二例会 2020年11月17日(火) 19:00~21:00 ウェスティン都ホテル京都

11月第二例会に参加して

交流委員長 倉 見 直 樹

久しぶりにリアルな例会に参加させて頂きました。リモートでは味わえない雰囲気を楽しませて頂きました。ありがとうございます。

講演はYMCA 三条保育園の山下園長様、本当に子供と遊ぶのが大好きなんだなと感じました。山下園長様は子供のころの純粹さをお持ちのまま大人になられたのだと思います。

お父様の子育ての考え方「やりたいことをさせてあげる」「受け入れて褒める」が大きく影響されているんだなと思います。私の子供は2人とも成人しましたが、つつい私の考える「正解」を押し付けていたのではないかと思返していました。

保育園の子供の写真を投影頂きました。子供がみんな、いきいきとした表情をしていました。子供のやりたいことをさせてあげ、「？」と感じたところをキャッチして、その「？」をきっかけに周りの方々に質問に行くことで繋がりを作る、とても素晴らしい循環です。

YMCA 三条保育園で育った子供たちが純粹さを持ったまま大人になってくれたら嬉しく思います。



YMCA 三条保育園
山下園長

TOBE クラブ

564回 11月第一例会に参加して

会 長 五十嵐 由 紀

11月11日(水)にANAクラウンプラザホテルで開催されました「TOBEクラブ11月第一例会」にお邪魔してきました。今期は他クラブ会長とお話する機会も少なく、コロナ禍の中どのように例会を運営されているのか興味もあり、また古田西日本区理事をはじめ役員の方、そして「TOBEサクセッション」メンバーを含め個人的にお知り合いが多いクラブでしたので、思い切って参加してきました。

当日は「コロナ禍で会社を強くする3つの鍵」と題しまして近藤学氏が講演され今流行りの「サブスクリプションモデル」について色々とお話いただきました。個人的には次回例会の「マダムアッコの数秘術」にも興味を湧きましたが、TOBEクラブさんは自由な発想とホテルとの連携で「運動会」をされたり、夏祭りで屋台を出されたりと個性的な例会を繰り返していただけるようで、とても良い刺激をいただき帰路につきました。

お世話になりました皆さま、ありがとうございました！

オータムフェスタ

書記 田中 雅博

2020年11月15日(日)。快晴のリトセンでオータムフェスタが開催されました。コロナ禍の中ではありますが、感染対策も十分に施されての開催に、元気な子どもたちをはじめたくさんの方が参加されました。

キャピタルクラブは恒例の飲み物販売の担当です。2か所に分かれて販売との要請があったり、お願いしていたガスコンロが無いなどのアクシデントがありましたが、そこは手慣れたメンバーの機転で、何事も無かったかのように淡々と進みました。さすがです。

今回はキャピタルクラブからも大勢のメンバーが駆け付けました。幡南 Y サ主査が担当される大きな事業が、盛況を収められたことは嬉しい限りです。感謝。



11月1日(日) ファンドライズバスツアー

ドライバー委員長 宮崎 順巳

朝9時に京都駅に集合し、バスに乗り込み石切神社へ。初めての石切神社でお詣りをし、どこか懐かしい商店街へ。皆さん、事前にいただいた地域共通クーポンで買い物を楽しんでおられました。我が家のクーポンは仮面ライダーベルトへ変身しました。その後、昼食をとる為にサガミへと移動しました。食前感謝は二回目で慣れた様子の藤野さん。お腹を空かせたメンバー、メネット、コメットを待たせるわけにはいかないと考えられたのでしょうか。参加者全員が驚く程に短かったです。

昼食を終え、奈良県の金剛生駒国定公園へ。綺麗な景色だったので、ここで参加者の皆様と記念撮影をしました。撮影後、京都へ戻り、二次会はアバンティの千房で行われました。

ここまで企画してくださった、森 繁樹ファンドライズ事業委員長、ありがとうございました。森繁樹様のお母様ご逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げます。



YMCA チャリティーゴルフに参加してきました

ドライバー委員 田中 升啓

11月21日(土)、センチュリー・シガ・ゴルフクラブにて、椿森 Y サ委員長を中心として山口さん、藤野さん、そして私の4名で参加してきました。

当日は少し肌寒い気候ではありましたが、天気も良く和気あいあいとプレーする事ができました。スコアの方はかなりの暴風と、グリーンに散乱した松の葉に手こずり、参加メンバー全員そこそこではありましたが……。

しかし、やっぱりメンバーの皆さんといろいろな話をしながらプレーするのは楽しいもので、良い休日を過ごす事ができました。参加メンバーの皆様、ありがとうございました！



with コロナ ～今後の決意を一文字で～

「常」

五十嵐 由紀

私が選んだ一文字は「常」です。

今期1年の役割も影響しているかもしれませんが、コロナウィルスについて多くの情報があふれ、何が真実なのか分からない状況にあっても、過去の体験を活かし「最も大切な事は何か」「いま自分ができることは何なのか」を見つめ、優先順位を考え、小さなこだわりは潔く捨てて「平常心」で物事を判断し行動していきたいと思っています。

後々振り返った時に「やっぱりあの時にあおしておけば良かった……」と後悔しないように、自分の考えを主張し過ぎないように気を付けつつ思いやりをもって自分らしさを保ちながら乗り切っていきたいと、この原稿を書きながら改めて思いました。

「慮」

左近 宏崇

一文字。難しいお題でした、委員長、出来れば次はせめて熟語で(笑)。

さて、一文字は「慮」を選びました。

若い頃はキレるのも早かったし、理詰めで相手をねじ伏せるような議論をするようなところがあった。

社会人になってから、これではダメだと、直そうと心掛けてきて、随分マシになれたと思う。たぶん。

けど、だんだん歳を重ねてきて、仕事上も若手から中堅くらいになって、しゃべった後に、苛立ちが言葉や態度の端々に出てたんじゃないかと思うことが増えた気がする。

このままでは、鬱陶しい年寄りへまっしぐら。

折しも、コロナでいろんな背景の人が居られることに気づかされる。

常に背景まで想像しつつボケたふりする年寄りになるために、慮れる心の余裕を持っていたいと思う。



「新」

金原 弘明

収束に向かうどころか、更に猛威を振るっているコロナウィルスですが、一方で有効なワクチンが最終の臨床試験段階との期待の持てるニュースも入ってきています。一日も早くこの惨禍が去って欲しいと思いますが、それを待つばかりはられません。

正に「with コロナ」、ニューノーマル。コロナが完全に無くならなくても私たちは前に進まなければなりません。その為に、様々な所で様々な変化、革新が生まれています。

リモートワークやオンライン会議等、労働分野でも新しいスタイルが生まれ、またその普及の速度は尋常ではありません。これらは働き方改革を進めるうえでの有効手段として国をあげて普及の後押しをしていたものの、なかなか普及が進んでいませんでした。それがこのコロナ禍の中、一気に世の中に広がりました。

今までやってきたことが通用しないことも多く、つらいことも多いかと思いますが、何とか新しい方法、スタイルを探って、晴れてこの惨禍が去った時には「新時代」を明るく楽しく過ごしていきたいと強く思います。

「育」

山口 雅也

今後の決意を一文字でということから「育てる・はぐぐむ」「うむ・うまれる」という意味合いの「育」という文字があてはまるように思います。

今まで自分なりに考え、行動し、多くの失敗と学びの中から歩んできて、気が付けば50代となりました。50といえばまだ若い部分もあり、そして自分というものをある程度持っている部分もあります。

私の仕事が製造業ということもあるのかもしれませんが「モノを作ること」「考え生み出すこと」が根本にあります。そして身体の変化や経験値に伴い、プレイヤーからマネジャーに役割を移動しようかという最中のコロナショック。仕事も減り、不安や弱気が忍び寄ってきます。しかし、そんなものは自分が勝手に作っている幻で、もっと具体的・科学的にやれることが見えていない、考え抜いていないからなのではないかと思い直しています。

「育」という文字が今の心を表しているのは、自らの特性を生かし、身近なことを「はぐぐみ」「うみ」「育てていく」ことが今後につながるだろうと考え、行動しているからだと思います。

YMCA NEWS

インターナショナルチャリティーラン

心身に障がいのある子どもたちのためのチャリティープログラムです。

今年は「バーチャルラン」！ みんなで走って歩いた距離をつなげて東海道五十三次（493km）走破をめざします。

日時 2021年1月16日(土)～31日(日)
好きなコースで、どなたでもご参加いただけます。

申込 こちらの専用QRコードからアクセスして必要事項を入力してください。



申込期限は
2021年1月6日(水)
詳細は案内、ホームページをご覧ください。

お問合せ インターナショナルチャリティーラン事務局 TEL (075)231-4388

スキーキャンプ・ウインター&スプリングプログラム募集（スキー、雪あそび、体操教室、スイミング、アフタースクール）

各種プログラムを用意しています。
1月までのスキーキャンプはGoToトラベル適用です。
ぜひお申し込みください。

お申込み 予約専用サイト e-YMCA

お問合せ ウェルネスセンター

TEL (075)255-4709



第5回 役員会議事録

2020年11月24日(火) 19:00～20:30

ウェスティン都ホテル京都 平安の間 並びに WEB会議

〈会長主題〉『伝えよう感謝 喜び そして 悲しみも』
〈西日本区・京都部報告〉 新型コロナ対策活性化資金の交付について

〈YMCA 報告〉 特になし

〈三役会報告〉 新型コロナ対策活性化資金(1万円)の用途について/ TOBE クラブ11月第一例会に五十嵐会長参加/ コロナ対応について意見交換

〈事業委員会報告/上半期事業報告〉

- YMCA サービス・ユース事業委員会 (リトセンオートナムフェスタ)詳細報告/(YMCA チャリティゴルフ)クラブより3組参加/(リトセンチャリティゴルフ)第一報配信/募金報告
- 地域奉仕・環境事業委員会 (ふれあい広場)録音方法などを12月の委員会で再検討する/(メタセコイヤフェスティバル)5月に延期/(スペシャルオリックス献金)12月第一例会で贈呈/i-care kids 京都について
- ドライバー事業委員会 12月第一例会の講師は宝蔵寺住職に決定/CATT 合同例会の打ち合わせ内容報告
- 交流事業委員会 東京クラブの1月例会にリモート参加をメンバーに呼び掛け/クリスマスメッセージカード(東京クラブ、台北クラブ)を12月第1例会までに集める/ TOBE クラブ例会に参加の五十嵐会長に他クラブ例会参加補助金支給
- ファンド事業委員会 10月11月ファンド実績報告/ファンド日帰バスツアー決算報告
- 広報・ブリテン事業委員会 12月号、1月号の骨子報告/HPリニューアル業者3件推薦あり/HPのアルバムについて
- EMC 事業委員会 クラブ忘年会の中止/リクルート会食会の報告/11月の例会出席状況報告/YES 献金報告
- クリスマスPT クリスマス例会の内容、予算など説明
- メネット会 メネットファンド(明太子販売)の説明

〈審議事項〉 なし

〈その他〉

第6回三役会 12月16日(水)

第6回役員会 12月22日(火) ウェスティン都ホテル京都

HAPPY BIRTHDAY

メネット 山口重子 12月28日

コメット 吉井二三 12月3日

HAPPY ANNIVERSARY

左近宏崇・佳津 ご夫妻 12月6日

大門和彦・洋子 ご夫妻 12月13日

11月報告



例会出席

在籍者数 29名
第一例会 22名
第二例会 21名
メイクアップ 1名
出席率 89.7%



BFポイント

切手 2,670g
切手累計 2,670g
現金累計 0円
E F 0円
J W F 0円
EF・JWF累計 0円



ニコニコ

第一例会 9,000円
第二例会 20,050円
累計 127,050円



ファンド

じゃがいもファンド 417,123円
合同委員会ファンド 9,000円
花ファンド 9,500円
メルカリファンド 1,764円
その他ファンド 2,500円
10月計 439,887円
累計 539,176円



献血

献血成分計



135周年募金

第一例会 2,280円
第二例会 1,725円
今期計 15,608円
累計 269,878円

ポジティブネット募金

第一例会 2,155円
第二例会 1,391円
今期計 14,761円
累計 19,303円

YMCA活動継続寄付金

第一例会 4,444円
第二例会 1,454円
累計 18,481円

出席第一...時間厳守...親睦...奉仕...使用済切手収集

編集後記

12月に入り、2020年も残り1ヶ月となりました。コロナウイルス感染拡大下において、今年はそれぞれが健康と日常のありがたみについて、それぞれの生活スタイルの中で感じた1年だったのではないのでしょうか。そして、2021年はどんな年になるのか？ どんな年にしたいのか？ これもそれぞれの想いがございしますが、何よりも世界が平和で、全ての人にとって幸福なより良い年となるよう、微力ながら頑張りたいです。

広報・ブリテン委員長 横田岳士